

「江戸風車」の作り方

2019/7/15 あそびの島

昔から日本の各地にはその地方特有の風車がありました。

昔の風車の材料は主に竹を使いました。愛知県の浜名湖周辺地域には「浜北の風車」として知られる風車がありました。この「浜北の風車」にヒントをもらい牛乳パックで「江戸風車」を作りました。

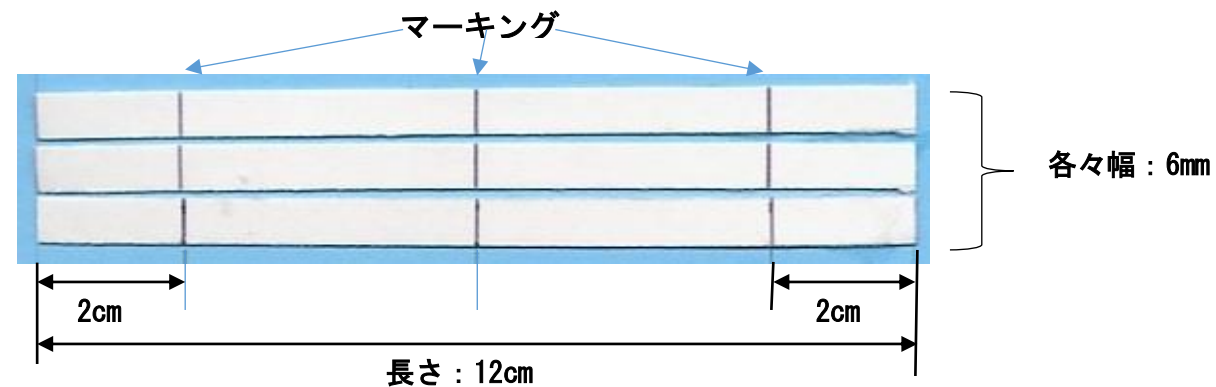


<材料の準備> ①牛乳パック：1個、②ストロー：1本、③針金（0.9φ）：18cm、④小釘（1φ程度のもの）：1本

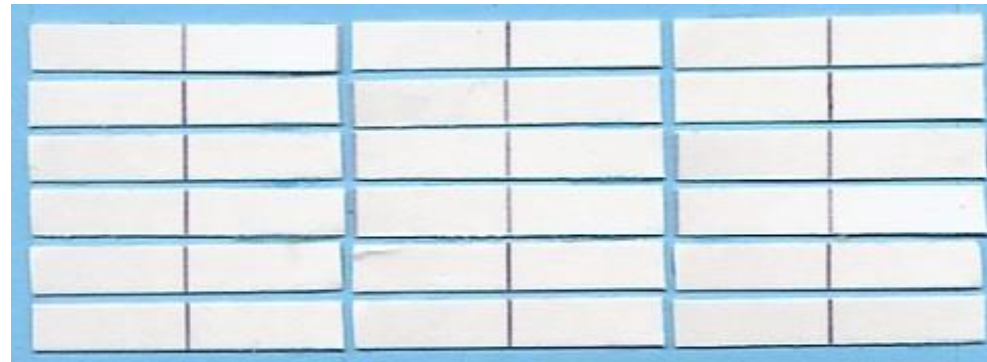
<工具他> ①カッターナイフ、②はさみ、③キリ、④ホチキス、⑤ラジオペンチ、⑥定規

<作り方> 牛乳パックを開いて加工する

①A片の作成～牛乳パックを幅：6mm、長さ：12cmにカッターで切る。3本作る。両端から2cm および中心にマーキングをしておく。



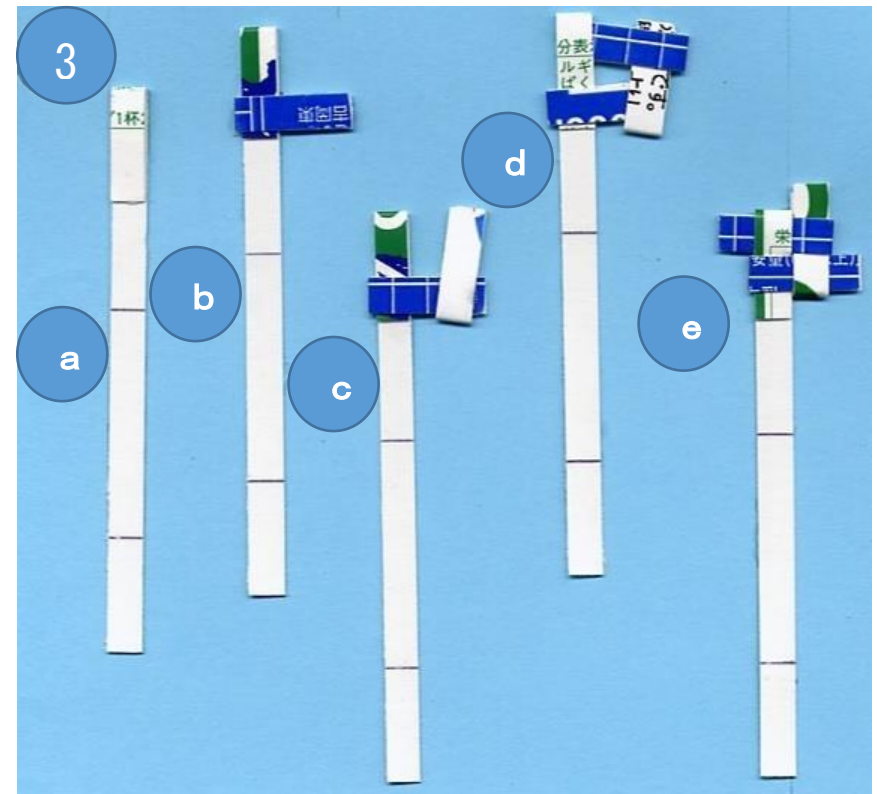
②B片の作成～牛乳パックを幅：6mm、長さ：4cmにカッターで切る。18本。それぞれ二つ折りする。



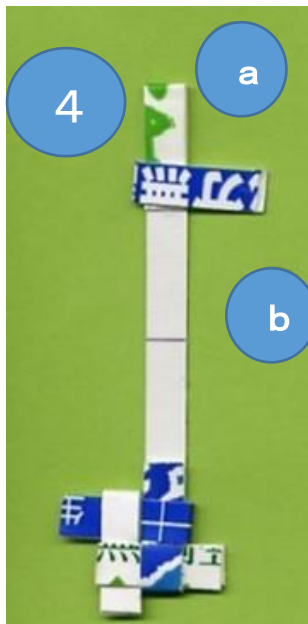
③羽根の組み立て方

A片を1本、B片を3本用意して

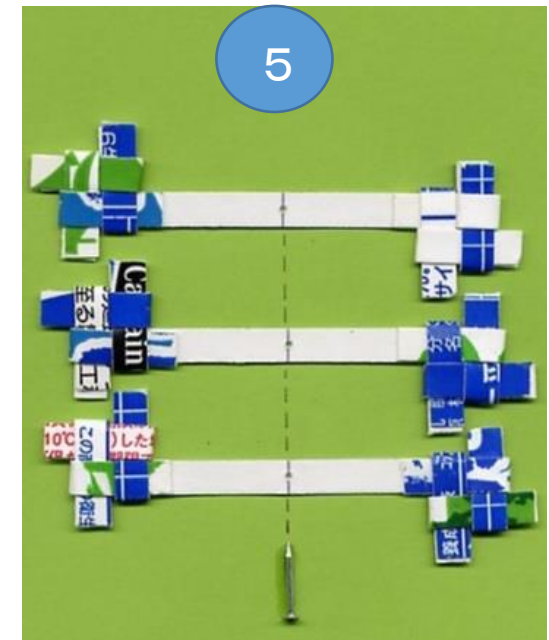
- A. A片のマーカ（端から2cm）のところを手前に折る
- B. B片1を左から右に向けてaで折った上から挟む
- C. B片2を下から上に向けてB片1の先の部分を挟む
- D. B片3を右から左に向けてB片2の先の部分を挟み、aで手前に折った、A片の重なっている間に差し込む。
- E. A片およびB片1, 2, 3をそれぞれ折り目まで押し込み形を整える



④ ③で一つの羽根ができたなら180度回転させ、再び③の手順でA片に3ヶのB片を組み付ける



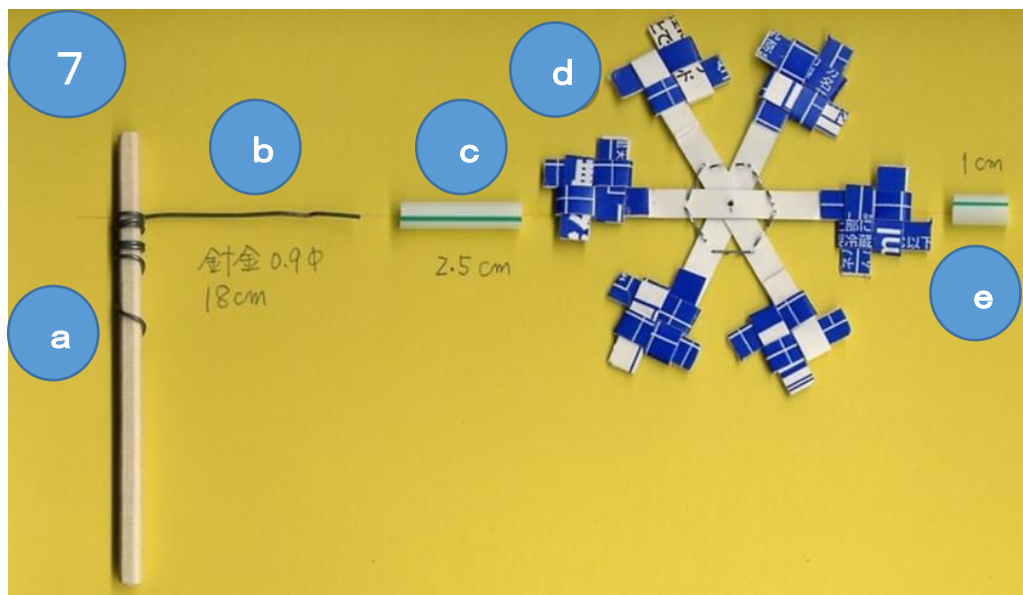
⑤ 同じものを3本作り、3本とも真ん中にキリで1φの穴を空ける。(小釘の穴)



⑥ 3本の真ん中に空けた穴に小釘を通して3本を展開する。

- ・ 3本を等間隔に配置し、ホチキスで図のように止める。





⑦ 割りばし (a) の先端に針金 (b) を 5~6 回巻き付ける

- ・ 巻きつけて残った針金の部分に 2.5cm の切ったストロー (c) を通す
- ・ ホチキスで止めた羽根から釘を抜き、針金に通す
- ・ 次に 1cm に切ったストロー (e) を通し、針金は 1cm 程度を残し余分な部分を切る
- ・ 針金の先端 1cm の部分を、1cm のストローにかぶさるように折り曲げる

⑧ 6ヶの羽根をそれぞれ 30度程度同一方向にひねり、形を整える

[完成]